

なんば店 クラウドファンディングについて

2022年1月30日

大器株式会社

1月28日に公開いたしました「大阪・なんば駅前の大型クライミングジム事業承継プロジェクト」の文中表記につきまして、誤解を生み、ご心配をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

居抜き状態と聞いていながら、実際にはホールドや一部の壁が無くなっていた記載に関して、改めて時系列で以下詳細をお伝えさせて頂ければと思います。

本件は居抜き状態であり、ホールドや壁も残ると物件仲介会社様より事前に聞いており、その前提で前向きな契約交渉を行っておりましたが、2021年9月30日にグラビティリサーチなんば店様が閉店した後、2021年10月上旬に現地確認をしたところ、ホールド・マットがなく、一部ウォールが無い状態でした。

契約前の段階であったため、本来聞いていた話（ホールドやウォールも残る居抜き状態）と異なっているという話を仲介会社様に行い、貸主様としてもその点をご考慮いただき、開店後の条件を当初と比べ弊社に有利な形として頂きました。

一方で大規模施設であるため、初期投資が非常に高額となっている事には変わらず、弊社内でこのまま出店を進めて良いのか？という意見も残っておりました。

クラウドファンディングの文にも記載させて頂きましたが、弊社のボルダリングに携わるメンバーには、多くのお客様からなんば店を残して欲しいとの声が届いていた事もあり、議論を重ねて弊社内で決裁・2021年12月に出店契約を締結する事が出来ました。

具体的な開店準備を進めていく中で、関西のクライマーの方々に、これまでのなんば店以上に喜んで貰いたいという気持ちもあり、皆さまからなんば店がさらに良いジムになったのとかと驚いて頂ける施設を目指すと、やはり投資額が上がってくる状況に至っております。

もちろん、上記のような考えではなく、最低限のホールドや壁でオープンする事は可能ではございますが、本クラウドファンディングを通じて、完全な形でオープンする事が出来ればと考え、本クラウドファンディングを立ち上げさせて頂いた次第です。

また、グラビティリサーチ様がホールドやウォール等を持って退去されることは、貸主様とグラビティリサーチ様間のお話であるため、弊社が関与できる内容ではございません。

そのような状況の中で、弊社がグラビティリサーチ様を責めているようにも受け取れる内容となってしまった事、そしてグラビティリサーチ様はじめ、クラウドファンディングをご覧頂いた方に不快な思いをさせてしまったこと深くお詫び申し上げます。

改めて全社一丸と邁進してまいりますので、皆様方のご支援・ご指導を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

本件についてのお問い合わせ先

大器株式会社 有馬（ありま） h-arima@daiki-net.co.jp